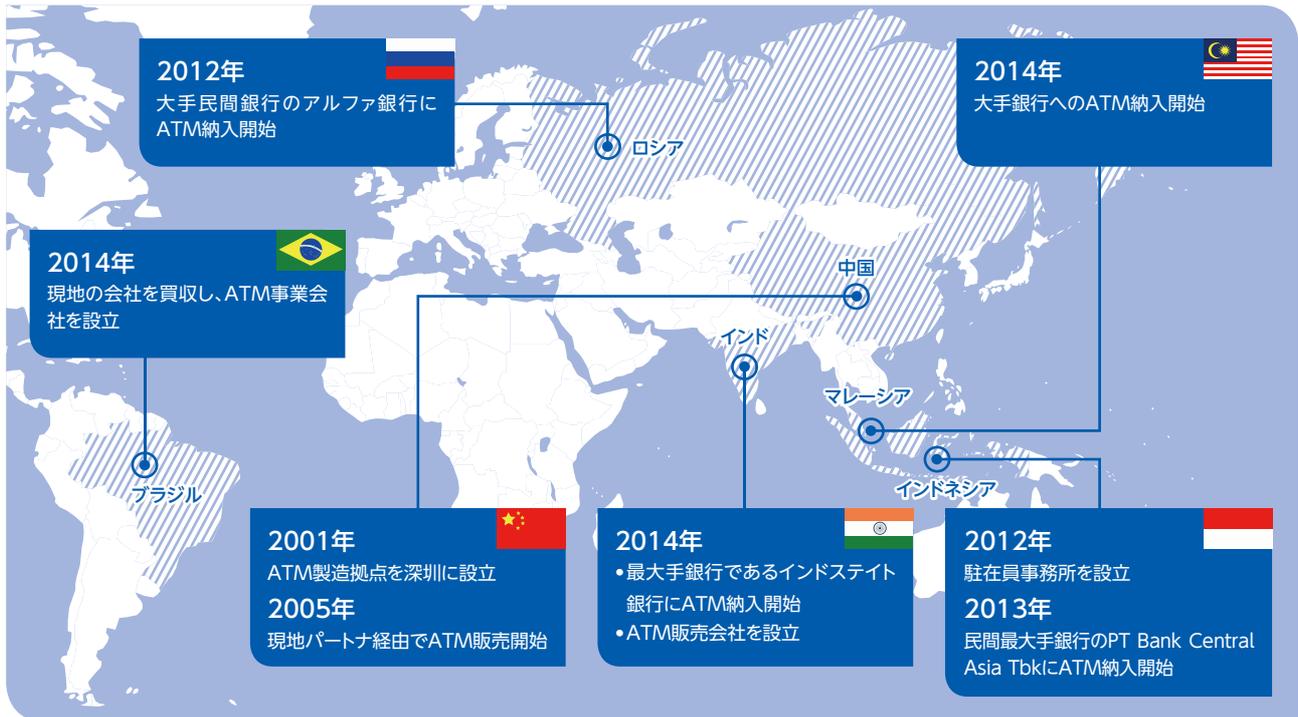


ATM事業の海外展開



日本国内に設置されているATMは、そのほぼ100%が入金した紙幣がそのまま出金に利用される紙幣還流型ATM(ATM)ですが、世界市場を見ると、出金専用機(CD)がまだまだ主流です。そのような市場環境において、OKIは2000年から中国市場に参入し、海外ベンダーのCDをATMにリプレイスしてきました。これは、銀行窓口の業務効率化や銀行を利用するお客様へのサービスの向上、高品質に支えられた高い稼働率によるTCO*削減、海外市場で特徴的な品質の悪い紙幣や偽造紙幣も確実に真贋を見分けて処理できる高い信頼性が中国市場で評価されたことによるものです。

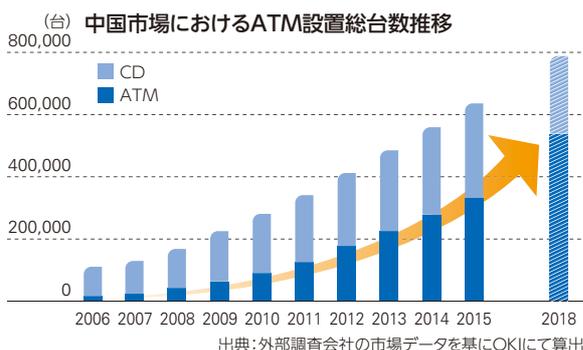
このような優位性を持つATMは、現金使用量の多い国々、主に新興国のニーズにマッチしており、OKIはこれらの国々をターゲットに新たな海外市場の開拓に積極的に取り組んでいます。近年では、ロシア、インドネシア、マレーシア、インド市場で販売を拡大しているほか、ブラジルに事業会社を設立し、中南米でのATMの展開を目指しています。今後も既存市場の深耕と新規市場の開拓により、OKIのATM事業をグローバルに拡大していきます。

* TCO: Total Cost of Ownership

VOICE

中国を端緒にグローバル市場を開拓

世界にはたくさんの地域、銀行があり、お客様の課題やニーズもさまざまです。OKIのATMがお客様の業務改善



に貢献するためには、ATM本体だけではなく、運用、システム、アフターサービスを含め、トータルに現場を知ることが一番大切です。現場主義に徹して現状を把握・分析し、お客様にとって最適な解決策を提案して実現することを中国市場で開始し、10年超になりました。現在、この活動をグローバルに広げています。想像もできないご要求にぶつかることもありますが、「現場を知る」原点を忘れずにグローバル展開を進めてまいります。



執行役員
海外営業本部長
安東 信哉